

青山学院大学 「持続可能な産官学連携による地域スポーツ推進事業モデルの構築」

社会の現状

- 働き盛り、子育て世代のスポーツ離れ
- 地域のスポーツ指導者の高齢化
- 子どもの体力低下

大学の果たすべき役割

- 先進的・科学的な知見の提供
- スポーツ指導者および場づくりの専門家育成
- 上記による地域社会課題解決

障壁
非正常予算・人材による
事業の不安定性・非持続性

目的

大学と地方自治体、民間企業等が連携し、持続可能で全国に展開可能な地域スポーツ推進事業モデルを構築すること

方法とロードマップ

令和6年度（試行年度）

- ① スポーツ体験イベント+講演
- ② 健康経営支援イベント
- ③ 大学生スポーツ指導員（ジュニアクラブコーチ）研修

を実施し、記録動画を含めたレポートを作成、スポンサー候補企業の反応を調査

令和7年度（評価～完成年度）

令和6年度のヒアリング結果を元に、新たなイベント企画、実施とスポンサー獲得活動実施

令和8年度（適用年度）

イベント企画・運営ガイドライン、プロモーションの手引きを作成し、他地域への展開を図る

令和8年度成果目標値

- ・新規のスポーツ参加者 300名
- ・大学生スポーツ指導者 30名
- ・スポンサー獲得数 10件
- ・獲得金額 総額1000万円

事業モデルの特徴

関係者すべてにメリットを持たせ**持続的な支援をすることで子ども達の成長を見守る**、企業の地域貢献活動、及び人材育成活動であること。**モデルとして全国展開可能**であること

- ・地域への愛着醸成
- ・最新の科学的健康スポーツ知識獲得
- ・スポーツ参加の機会増大

